

2018年(平成30年)12月21日(金曜日)

(4)

## 福島第1原発事故と健康

# 石巻での影響調べ 甲状腺エコー検査

子どもの健康や福祉に関する活動に取り組む「子どもの健康を考える会・いしのまぎ」は9日、東京電力福島第1原発事故に伴う健康への影響を調べようと、地域住民を対象とした甲状腺エコー検査を石巻市の石巻中央公民館で実施した。

親子連れを中心に約40人が参加。県内各地で検診などを行っている日本キリスト教団東北教区放射能問題対策室「いずみ」(仙台市)や医師が協力した。会場では、子どもたちののどに

超音波機器を当て、しこりなどがなくどうか検査した。

長男(8)、長女(5)を連れて参加した東松島市矢本の30代女性は「検査をしてみるのは安心につながる。定期的が続けたい」と話した。

子どもの健康を考える会・いしのまぎの橋本和良代表(35)は「病気の有無の判断だけでなく、不安の解消にもつなげてもらいたい。これからも半年に1回程度の頻度で開催していく」と語った。



甲状腺のエコー検査を受ける参加者